

新宿

Let's協働

新宿に宇宙人がやってきた! すごろく



Contents

「協働」ってなあに? P02

【事例1】新宿スポーツ環境推進プロジェクト P04 【事例2】商店街ホームページ活性化事業 P06

【事例3】働きやすい職場づくりの情報発信事業 P08 【事例4】地域防災の担い手育成事業 P10

ほかにもこんな協働事業! P12 よくわかる!「協働事業提案制度」とは P16



「協働」ってなあに？

この冊子のタイトルにもなっている「協働」。いったいどういう意味なのでしょう。森の仲間たちがわかりやすく説明してくれました！



もっと知りたい「協働」！

この冊子「Let's新宿協働」も、区民と新宿区が「協働」して作成しています。「協働」について素朴な疑問にお答えします！

A Q 「協働」とはなんですか？

NPOとNPO、企業とNPO、行政とNPOというように、2つ以上の団体が共通の問題を解決するために、協力して取り組むことを言います。お互いの特性や得意分野を活かし、力やスキルを提供し合うことで相乗効果が発揮できるんですよ。

A Q なぜ、協働が必要なのですか？

新宿区には子どもから高齢者、外国人や障害のある人などさまざまな人が暮らしています。社会が変化する中で、さまざまな要望や解決すべき問題が出ていますが、行政だけでは対応が難しくなっています。一方で、NPO等の専門性を持った社会貢献活動団体に、公共の担い手としての



A Q 新宿区の今後の協働事業は？

平成25年4月に「新宿NPO協働推進センター」を開設しました。NPO等の区内社会貢献活動団体の活動の支援・普及・啓発をすることで、多様な主体との「協働」を推進していきます。そして、より暮らしやすい新宿区を目指します！

A Q 「新宿区協働事業提案制度」って？

この冊子のテーマでもあり、地域の暮らしを支援するための制度です。NPO等の社会貢献活動団体に向けて、その専門性や柔軟性を活かした事業提案を、区が募集します。そして、提案団体と区が「協働」することで地域の課題を効果的に解決し、住民の方たちの行政への参加を促し、さらに暮らしやすい地域社会を目指します。(詳しくは16頁をご覧ください)

キョードー森の仲間たち



シマリスくん
元気いっぱい、好奇心いっぱいの男の子。



モモンガさん
口は悪いけど根はやさしい姉御肌。



ハムスターくん
のんびり、まったり。実は意外と苦労人？



フクロウさん
森のみんなの相談役。



アライグマくん
清掃ボランティアのリーダー。とってもきれい好き。

スポーツに携わるあらゆる人たちの自己実現を支えていき、スポーツの普及及び育成に関する事業を行い、スポーツ文化の振興及び子どもの健全育成に寄与することを目的に活動している。

〒169-0073 新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2F
 ☎ 03(6908)8119 ☎ 03(6908)8908
 ✉ info@criacao.or.jp 🌐 http://criacao.or.jp/



ラグビーのボール、初めて触った!



スポーツを通じて自分の道を見つけて欲しい。自立した大きい人間になろう!

齊藤祐也さん(元ラグビー日本代表)



みんな! 時間は有限。質の高い練習をしよう。保護者の方にもコツを伝えます!

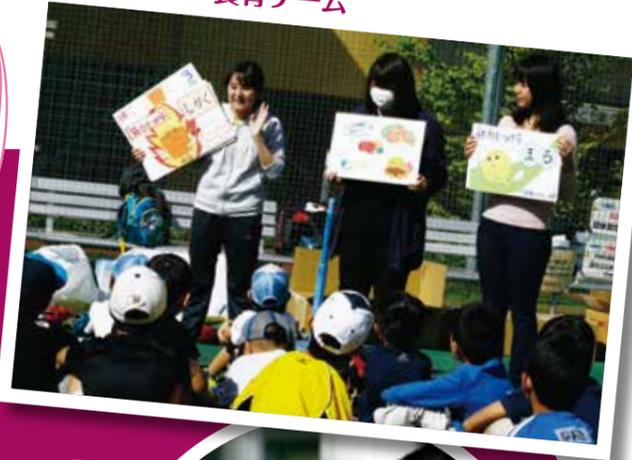
江尻慎太郎さん(元プロ野球選手)

講師から

色々なスポーツが体験できる上に、コーチがすごい!

爽やかな秋の一日、イベント体験!

まずは楽しい食育ゲーム



参加して
みました!



お母さん、また絶対申し込んで!

スポーツが苦手な息子。でも、すごく楽しそう。

ティーバッティング、上手にできるかな?



スポーツは君を大きくする 集まれ!子どもたち

事業名◎新宿スポーツ環境推進プロジェクト

団体名◎一般社団法人 地域スポーツ推進クラブCriacao
 区担当課◎地域振興部 生涯学習スポーツ課/区負担額(予算額)◎3,300千円

我がまち、新宿を支え、育んでいく力。それが新宿力。スポーツを通じて新宿力にあふれた子どもを育てたい!

講師は元トップアスリート!

青い空から落ちてくる白い野球ボール。真剣な表情で飛びつく子ども。「捕れた!」笑顔が弾けます。

一般社団法人地域スポーツ推進クラブCriacao(クリアソン)以下、クリアソンと新宿区地域振興部生涯学習スポーツ課の協働事業、「新宿スポーツ環境推進プロジェクト」での一コマです。両者は子ども向けのスポーツ体験教室と、指導者や保護者に向けたセミナーを年12回程度開催。スポーツによって、子どもの可能性を大きく引き出すきっかけ作りをしています。

これまでスポーツ体験教室で実施した競技はサッカー、野球、ラクロス、ラグビー、かけっこなど実に多彩。多くの競技に触れる方がより子どもの可能性を引き出せるからです。

体験教室では健康な体作りのための食事と栄養について、楽しみながら学ぶ食育ゲームも行います。

何より魅力的なのは一流の講師陣。「よし、いいボール!」「みんな上手だな!」元トップアスリートの講師にほめられ、輝く表情。「運動が苦手だと思っているのは、実は適切な指導を受けていないだけ」なのだそう。「運動が

苦手で、参加を嫌がっていた息子が、またやりたい!と、言ってくれた」という参加者の声。これぞ、スポーツの力!

スポーツの中に学びがある

指導者、保護者向けのセミナーは協働事業2年目の平成28年度からの試み。適切な指導方法やスポーツと食事との関係について、それぞれ一流の選手や栄養士から学ぶことができます。指導力の向上は、子どもの能力を引き出すことに直接関係するからです。運動会シーズンには走り方の講座も開催しました。講座には200mハードルアジア最高記録保持者秋本真吾さんの実践指導つき! また、3年目となる平成29年度は、多くの外国人が住む新宿区の特徴を生かし、国境を越えたスポーツ交流の場を提供したいと思っています。

「さまざまな工夫でこの事業を今後につなげたい」とクリアソン理事の土田雄弘さんは穏やかに前を向いて言います。「スポーツの中には根気や友情、達成感などさまざまな学びがあります。スポーツの真の楽しさに触れることで、積極的に自分の将来の選択肢を広げていく。そんなチャレンジの機会を作れたら嬉しいですね。」



協働が大きな力に

新宿区との協働関係は理想的。スポーツが苦手な子どもを感じるの?など、団体だけでは気づきにくい点を助言していただき、協働の強みを実感します。



丸山和大人
一般社団法人地域スポーツ推進クラブ
Criacao代表理事

のびのび動こう!

今は、ボール遊びができない公園がとても多いですね。新宿区と協働することで広い会場を確保でき、子どもは思いっきり体を動かすことができます。



土田雄弘さん
一般社団法人地域スポーツ推進クラブ
Criacao理事

【楽しい】思いをつなげたい

多くのお子さんが参加できるよう、日程や競技種目、天候などを考慮。イベントの中で実感した「楽しい!」をその後につなげることが課題です。



玉置孝子さん
新宿区地域振興部生涯学習スポーツ課
生涯学習スポーツ係長

スポーツが苦手でも大丈夫

スポーツ経験の少ないお子さんが、イベント終了時には「上手くできたよ!」と笑ってくれる。成功体験は力になることを実感します。



森嶋朱美さん
新宿区地域振興部生涯学習スポーツ課

私たち協働しています!

双方向の交流の場に

まずは多くの方に1度サイトを見ていただきたい。「新宿ルーペ」が、さまざまな商店と区民や消費者の双方向のコミュニケーションができる場になればと思います。



本田正教さん(左) 田中大一さん(右)
NPO法人団塊のノーブレス・オブリージュ
理事長・事務局

知らなかった魅力に気づいて

普段商店街を歩いていて気がつかなかったようなお店も「新宿ルーペ」上でなら出会えます。魅力的なお店が隠れているかもしれませんよ。ぜひ一度ご覧ください。



桑野明さん
新宿区文化観光産業部産業振興課
産業振興係主査

一緒に地域を盛り上げて

商店街は区民の方々からの応援で成り立っています。「新宿ルーペ」を活用して、ぜひ街の商店を応援してください。一緒に地域を盛り上げていきましょう。



高井剛さん
新宿区文化観光産業部産業振興課

商店会の活気に

商店街では様々なイベントが開催されています。区内商店会と商店の情報を発信する「新宿ルーペ」の力がお店の売り上げと活力につながってほしいと思います。



佐藤雅英さん
新宿区商店会連合会 事務局長

魅力たっぷり!「新宿ルーペ」

「新宿ルーペ」にはお得なイベント情報が盛りだくさん



新規店舗
新しく登録されたお店を表示

最新投稿トピックス
個店が発信する最新記事を表示

新宿区のお店を捜そう
業種、ワード、地図で検索可

開催中イベント
現在開催しているイベント情報を表示

開催予定のイベント
これから開催予定のイベント情報を表示



新宿ルーペ 検索
<http://shinjuku-loupe.info/>

私たちが協働しています!

NPO法人 団塊のノーブレス・オブリージュ

広く一般市民を対象として、とりわけ人生の新たなステージでの社会参加に意欲を持つ団塊世代を対象に、社会貢献へ向けての啓蒙・普及啓発活動や講習会・研修会などの社会教育事業、政策研究事業などを行い、団塊世代の活力を導き出し、少子高齢時代の中で明るい展望の持てる日本社会構築に寄与することを目的として活動を行っている。

〒169-0051 新宿区西早稲田1-4-14-201
TEL 03(3207)5074
E-MAIL dno-info@dankai.jp URL <http://www.dankai.jp/>

「新宿ルーペ」で 新宿の商店街を元気に!

事業名◎商店街ホームページ活性化事業

団体名◎NPO法人 団塊のノーブレス・オブリージュ
区担当課◎文化観光産業部 産業振興課/区負担額(予算額)◎2,760千円

ICTを活用して情報発信

チェーン店やネット販売などの台頭により、地域の商店街は厳しい状況になっていきました。しかし、商店街には魅力的な商品を揃え、地域に密着した形で営まれている個人商店が数多く存在します。普段の生活の中ではなかなか気がつきにくい、そうした商店の存在をWEBを通じて知ってもらい、区民・消費者の利便性を向上させたいという思いからNPO法人団塊のノーブレス・オブリージュ(以下、ノーブレス)と新宿区文化観光産業部産業振興課(以下、産業振興課)が協働して実施しているのが「商店街ホームページ活性化事業」です。

本事業では、新宿区商店会連合会(以下、区商連)のホームページ(以下、HP)である「新宿ルーペ」を通じて、区内商店会及び商店の情報を発信し、街の活性化を図ることを目的としています。そのためにノーブレスはHP運営やICT(情報通信技術)に関する豊富な経験や地域とのつながりを生かし、

時代の変化に伴い、厳しさを増す商店街を元気にしたい。そんな思いから、新宿区内のお店&商店会とお客さんたちをつなぐポータルサイトが開設されました。

HP作成の支援、周知を担当。産業振興課は地域の商店会とコミュニティの情報に強い区商連との連携をサポートしています。

区商連には90もの商店会が加盟していますが、その中にはICTが苦手な高齢の事業主が営む個人商店もあります。事業ではそんな商店会ごとの特性をふまえ、各商店会に合った適切な支援ができるように心がけています。

本事業で商店会のページ作成や更新支援を行うことにより、最終的には商店会が新宿ルーペを通じて自ら情報発信できるようになることを目指しています。

「新宿ルーペ」について「情報の質、量と利用者発信者が双方向で交流できる場を目指して」

さらに「新宿ルーペ」は、日本語と英語に対応しています。2020年の東京で行われるオリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客のニーズに添えていきたいと考えています。

商店会、NPO、消費者それぞれが一体となって作り上げていく「新宿ルーペ」。これからの発展に注目です。



上) 要通り商店会のイベント(トラッドジャズフェスティバル)
右) 新宿駅前商店街振興組合主催の被災地復興イベントにて
左) 取材をする早稲田大学の学生

働きやすい職場づくりに向けて ～ワーク・ライフ・バランスの推進を～

事業名◎働きやすい職場づくりの情報発信事業 団体名◎公益財団法人 日本生産性本部
区担当課◎子ども家庭部 男女共同参画課/区負担額(予算額)◎3,300千円

仕事も生活も人それぞれ。個人の時間を充実させるだけでなく、子育て、介護、心身の疲労などにより仕事を続けられるか悩んだときこそ、ワーク・ライフ・バランスの推進が必要です。

事例勉強会でネットワークづくり

新宿区は他の自治体に先駆けてワーク・ライフ・バランス(以下、WLB)推進企業の認定制度を導入し、WLBの推進に取り組んできました。

WLBを広く推進していきたい、優れた企業の取り組みを紹介することで、WLBに取り組む企業が増えてほしい。そんな思いから公益財団法人日本生産性本部(以下、日本生産性本部)と新宿区子ども家庭部男女共同参画課(以下、男女共同参画課)が平成26年度から協働して取り組んでいるのが「働きやすい職場づくりの情報発信事業」です。

この事業では、年3回WLBの推進に関するセミナーを実施しました。また、個々の企業が行っているWLBの取り組みを結びつけることで、推進企業もこれからの企業にももっとWLBの推進が浸透するのではないかと考え、事例勉強会で企業同士のネットワークづくりを行いました。

さらに、WLBの推進にこれから取り組む企業にも理解しやすい応援サイトを立ち上げ、推進企業の先進事例を掲載。加えて、WLB導入企業の好事例を紹介する「ワーク・

ライフ・バランス推進企業事例集」も作成しました。

実施3年目となる平成28年度は、事例集に加え、WLB推進の必要性や効果などを解説する研修DVDを完成させます。

自分なりのWLBを

事例勉強会でのネットワークづくりでは、「他社の声が聞けて参考になった」「意見交換ができて良かった」といった声が聞かれ、活発な交流の場となっています。

「事例集は、求めていた情報が得られて参考になるとの声が寄せられています」と日本生産性本部の竹内孝太郎さん。今後は組織の規模にかかわらず、企業に適した取り組みへの支援を広げていきたいそうです。

「さまざまな支援策が充実している新宿区は働きやすいと思ってもらえるように、これからもWLBの推進に取り組んでいきます」と男女共同参画課の山内浩恵さん。

一方で、まだ課題もあります。企業が有給休暇や育児・介護休業などWLB関連の制度を整備するだけでなく、躊躇なく制度を利用できる環境づくりを進めることや、働く人一人ひとりの意識改革もWLBの

浸透には大切です。

仕事も個人の生活も充実した未来のために、さまざまな支援策が充実している新宿区。3年間の活動を通して団体と担当課は確かな手ごたえを感じているそうです。



平成28年6月のセミナーでは社会保険労務士の加納明夫氏にお話を聞きました

WLBの機運を生み出す

企業がWLBの取り組みを推進する事は、取引先や顧客、地域へプラスの効果をもたらします。新宿区で1社でも多くの企業の取り組みを今後も、応援していきたいです。



竹内孝太郎さん
公益財団法人日本生産性本部ワークライフ部
ダイバーシティ推進センター

継続していくことが大事

すぐ成果が出る事業ではないですが地道に続け、区民にだけ知っていただくが大事。一過性のイベントに終わらず継続できるように働きかけていきたいと思っています。



北沢聖子さん
新宿区子ども家庭部男女共同参画課長

苦手な広報・集客力に成果

区があまり得意ではない情報発信力や集客力の面で協働は大変成果がありました。区はWLBの推進に取り組んで10年。これからも取り組みを進めていきたいです。



山内浩恵さん
新宿区子ども家庭部男女共同参画課
男女共同参画主査

事例集から広がる輪に期待

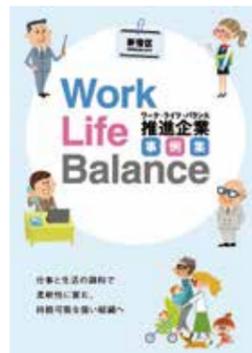
区民と区内で働く方が企業内のさまざまなWLBに関する制度を利用できる環境づくりのために、「ワーク・ライフ・バランス推進企業事例集」がより多くの方たちに届けばと思います。



武井秀太さん
新宿区子ども家庭部男女共同参画課

3年間の主な活動実績

セミナー	計9回開催
2014年9月2日(火) ～仕事のムダを省いてワーク・ライフ・バランスの実現～効率アップのためのタイムマネジメント	
2015年6月12日(金) 女性活躍推進セミナー ～自社の具体的な進め方を考える～	
2016年2月23日(火) ママになってからのキャリア論	
2016年10月3日(月) 仕事と介護の両立支援セミナー ～もはや他人事ではない介護問題と両立推進～	
事例勉強会	計9回開催
参加企業が持ち寄ったテーマを元に課題を抽出 平成27年度は瀧美由喜氏(株式会社東レ経営研究所主任研究員)を講師に招き、講演・課題検討を実施しました。	
シンポジウム	
2014年11月26日(水) 「新宿区 ワーク・ライフ・バランス推進シンポジウム」 ～多様な生き方・働き方を成長戦略として活かす～	
ホームページの作成	
ワーク・ライフ・バランスに関する情報収集・発信のプラットフォームとして新宿区ワーク・ライフ・バランス推進応援サイトを設置	
事例集の作成	
ワーク・ライフ・バランス推進企業の優れた取り組み事例を紹介する事例集を作成	
研修DVDの作成	
3年間の事業の成果を踏まえたワーク・ライフ・バランス導入のための研修DVDを作成	



WLBに積極的に取り組んでいる新宿区の企業事例集



協働によって信頼関係がはぐくまれ、抜群のチームワークを発揮する協働メンバー

私たちが協働しています！

公益財団法人 日本生産性本部

産業界、学識者など各界の代表者により構成される民間組織。生産性運動の推進を通じて日本の産業界を取り巻く諸課題に果敢に挑戦し、戦後の日本経済の自立と産業界の発展、国民生活の向上に大きく貢献。地球環境上の制約、グローバル化の進展、IT技術の発達、人口減少などの状況に直面するわが国において、「信頼と活力ある社会」を創る活動に積極的に取り組んでいる。

〒150-8307 渋谷区渋谷3-1-1
TEL 03(3409)1122 FAX 03(3409)1007
E dmc@jpc-net.jp URL http://www.jpc-net.jp/

みんなで作る防災イベントと 担い手育成

事業名◎地域防災の担い手育成事業

団体名◎一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター
区担当課◎危機管理担当部 危機管理課/区負担額(予算額)◎3,300千円



岩手県釜石市の防災教育について、森本晋也さんから話を聞きました



知っておくと救急救命に役立つAED講習



おもちゃのかえっこ(物々交換)を楽しみながら、防災知識が身につく「イザ!カエルキャラバン!」



外国人向けの防災セミナーも行いました



震度7の揺れを疑似体験できる起震車



Dr.ナダレンジャー(納科恭明さん)による、地震液状化はなぜ起こるのかなど、子どもも大人も楽しみながら理解できる防災科学実験ショー

新宿区の企業・学校・NPO・行政のみんなで、楽しく学べる防災イベントを開催。
行動力・判断力を身につける、地域防災の担い手育成が始動しました。

それぞれの強みを生かし 協働で防災

近年、首都直下地震に備えて、東日本大震災の経験を踏まえた防災や減災対策への重要性が指摘される一方、時間の経過とともに、区民の防災意識が低下。加えて町会や自治会などが行う自主防災訓練に、ファミリー層や若者の参加が少ないことが課題となっています。そこで、「防災意識向上」と「共助の担い手育成」を目的とし、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター(以下、PBV)と新宿区危機管理担当部危機管理課(以下、危機管理課)が協働事業に取り組みました。「事業の大きな柱は、2つ。1つ目は、子ども、若者、外国人に効果ある楽しみながら学ぶ体験型防災イベント『しんじゆく防災フェスタ』の実施。2つ目は、イベントのコアボランティアを地域防災の担い手として育成すること」と、危機管理課の浅井友翔さん。阪神・淡路大震災から災害支援活動を行ってきたPBV理事の合田茂広さんは、「災害現場で大切な信頼関係は、防災や減災でも重要。イベントでは、産学官民でそれぞれの強みを活かして役割分担し、実行委員会を運営しました」と話します。



老若男女、外国人も 楽しく学べる防災イベント

「しんじゆく防災フェスタ2016」は、平成28年9月4日に開催されました。親子防災体験、防災教育シンポジウム、外国人向け防災セミナー、救命講習など、幅広い年齢層や外国人にも楽しみながら防災に関する知識を身につけてもらうプログラムを用意。特に人気だったのは、キッズイベントのおもちゃのかえっこ(物々交換)と防災体験を組み合わせた「イザ!カエルキャラバン!」。「フェスタの参加者はおよそ3千名となり、楽しく学ぶという防災の新しい取り組みとして、多くの方の防災意識の向上につながりました」と合田さん。また当日はボランティア219名が運営に携わりました。イベント当日は、21名のコアボランティアが参加。コアボランティアは毎月1回の勉強会を受講。PBVを始め、実行委員会を構成する区内のNPOなどが協力し、地域防災の基礎から実践までを学びました。

顔の見える関係づくり

協働事業を通じて、「実行委員会」の場で各関係団体などと、顔の見える関係性が構築で

きた」と収穫を話す浅井さん。合田さんも、「危機管理課との連携はもちろん、各団体などとのつながりやネットワークづくりができたことが喜び」と話します。今後は、事業をさらに深めるため、「災害対策の基本である『自助・共助・公助』を充実・強化するためにも、よりユニークな防災企画を考えたい」と合田さん。

共助の担い手を育て、成長させる

実施1年目となる平成28年度は「若年層、ファミリー層、外国人など幅広い層」の参加に焦点をあて、事業に取り組みました。今後は、「障害者などの要配慮者」とも連携して、実施1年目の実績を活かすイベント実施や担い手育成をしていきます。

「首都圏で大地震が起きた時、この事業を通じて培われたコミュニティで地域防災を支え、救える命・生活・尊厳を一つでも増やしたい」それが、合田さんはじめ協働メンバーたちの強い思いなのです。

**フェスタ当日は
たくさんのボランティアが
参加してくれました**

- 運営ボランティア**
当日のボランティアリーダーなど
- 語学ボランティア**
通訳・翻訳、
コミュニケーションサポート
- 当日ボランティア**
設営・企画・運営サポート
・片付けなど
- ブースボランティア**
各ブース出展団体の
職員・ボランティアなど
- 撮影ボランティア**
フェスタ当日の様子を
撮影・記録

**区の信頼と
広報力が得られた**

区と協働したことで、幅広く多様な区民の方々の参加につながりました。

合田茂広さん
一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター理事

**団体の企画力、
実践力が成功の鍵**

区にはない企画力、機動力とネットワークに助けられました。

浅井友翔さん
新宿区危機管理担当部危機管理課

私たち協働しています!

**一般社団法人
ピースボート災害ボランティアセンター**

国際交流NGOピースボートが行ってきた阪神・淡路大震災以降の災害支援のノウハウを引き継いで2011年に独立した一般社団法人。東日本大震災では、宮城県石巻市での活動を中心に約9万人の災害ボランティアをコーディネートした。その後も熊本地震、ネパール地震などの被災地で災害救援を行う。平時には、全国で災害ボランティアの人材育成や防災・減災教育、研修・講演などを開催している。

〒169-0075 新宿区高田馬場3-13-1-2F
☎ 03(3363)7967 ☎ 03(3362)6073
✉ kyuen@pbv.or.jp http://pbv.or.jp/

仲間と協力しながら 次代のリーダーに

事業名〇未来を担うジュニアリーダーの育成

区担当課〇子ども家庭部 子ども総合センター
TEL 03(3232)0695



上) ジュニアリーダー研修では、グループワークなどを通して、リーダーとなる基礎的な知識や技術を身につけます 中・下) 自然体験活動の部では、キャンプに参加し、料理やテント泊を経験します

新宿区では地域の子どものお兄さんお姉さんとして活躍する「ジュニアリーダー」の育成を目指して、区と地域団体が協働で「未来を担うジュニアリーダーの養成講座」を実施しています。

具体的には「ジュニアリーダー研修」、「自然体験活動の部」、「表現活動の部」の3つのコースを実施しています。

「ジュニアリーダー研修」は、全コース共通で実施。ジュニアリーダーとして必要な基本的な知識と技術を身につけるための講座を実施します。グループワークを通して自分の特性、役割について考えたり、仲間を知り、他者と協力しあうことを学ぶことができます。

「自然体験活動の部」は、1泊2日のキャンプを実施し、班員全員で協力して、自然体験（野外活動）の知識・技術を習得します。

「表現活動の部」は、人前で自分の考えや意見などを表現する力を身につけることを目的として、講座を実施。講座の最後には学んだことを発表する場として、ニューイヤークイズ・ミュージアム（主催…ニューイヤークイズ・ミュージアム実行委員会。区連携事業）に参加し、舞台上発表を行います。

各コースを受講した子どもたちは地域活動ボランティアにも参加します。講座を通して仲間と協力し合い、楽しみながらジュニアリーダーとしての資質を育むことができる活動です。

地域活動の中心となって活躍する、ジュニアリーダーを育成。さまざまな活動を通じてチームワークや自己表現力も育てます。



舞台では緊張しましたが、日ごろの練習の成果を発揮しました

親子で楽しい とおきの時間

事業名〇乳幼児文化体験事業

区担当課〇文化観光産業部 文化観光課
TEL 03(5273)4069

子育て世代にぜひ利用してもらいたい！ 未就学児を対象に、本物の文化、芸術体験を。

共働き子育てしやすい街ランキングで新宿区は総合1位！（※）意外ですか？ いえ、意外ではないんです。新宿区は子育て世代のお母さんと子どものために様々な活動を行っています。区とNPO法人あそびと文化のNPO新宿子ども劇場が平成22年度から協働で実施している「乳幼児文化体験事業」もその一つ。

文化、芸術体験は子どもが豊かな心を育み、自立していくための糧となります。そこで、この事業では主に未就学児を対象に「はじめてのおしばい」として良質の舞台を提供、また「わらべうたあそび」の出前講座を行っています。膝の上の我が子。目をじっと見つめて触れ合う時間。伸びやかな感情が生まれます。

「普段はじっとしていない息子が最後まで生の歌や楽器に聞き入っていた」「子どもと一緒に穏やかに特別な時間が過ごせた」など、多くの声が寄せられ、満足度の高い事業となっています。

※ 日経DUAL×日本経済新聞の自治体調査



プロによる楽器演奏を親子で楽しむ



指人形を使った手遊びを親子で



子どもを膝にのせてふれあいながらお話を

ほかにもこんな協働事業！

新宿区では、NPOや企業、区民などと協働して様々な事業を行っています。あなたの身近のこんな活動も「協働事業」なんですよ！

新宿のまん中で 生き物と共生する

事業名〇みんなでみどり公共施設緑化プラン

区担当課〇みどり土木部 みどり公園課
TEL 03(5273)3924



新宿中央公園の中にビオトープがあるって知っていましたか？ ビオトープとはドイツで始められた取り組みで野生の生き物のくらす空間のこと。生き物と共生しふれあえる都市・新宿を目指し、新宿区と公募区民で結成された新宿中央公園ビオトープの会、地域団体、ボランティアがビオトープの整備に協働を取り組みました。各地での視察や勉強会を経て完成したビオトープは平成20年4月より一



上) ビオトープ内の水田で、西新宿小学校の生徒たちが田植えを行いました
下) 新宿中央公園内で、自然観察会も行われています

般開放されています。都心ではなかなか見られない四季折々のさまざまな生き物約90種や草花約180種を大切にするため、一般開放後もメンバ―は積極的に維持管理に関わり続けています。またビオトープでは近隣小学校の生徒による田植えや縄な、い、初すり体験に加え公募参加者等による自然観察会も開催されるなど、多くの方が参加しています。

広がる支え合いの輪「認知症サポーター」

事業名〇認知症高齢者支援の推進
(認知症サポーター活動登録者【オレンジの輪】の活動)

区担当課〇福祉部 高齢者支援課
TEL 03(5273)4594



認知症サポーターとは、認知症について正しい知識を持ち認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。新宿区では、平成20年度から認知症サポーター養成講座を開始し、平成28年12月末現在、1万7000人を超えるサポーターが誕生しました。こうした認知症サポーターと共に地域の支え合いの輪を拡げるため、新宿区では「認知症サポーター活動登録（オレンジの輪）」

輪の活動」を協働で行っています。活動登録をした方は、区が開催するフォローアップ講座や認知症の普及活動への参加など、自分にできることから活動に取り組みます。フォローアップ講座では、専門家の講義、区内の介護施設の見学、高齢者施設の紹介、声かけ等の模擬訓練を実施しています。認知症に関する理解を深め、地域での見守り活動につなげています。



上) 講座では認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やそのご家族をサポートするための知識を学びます
下) 認知症サポーターとして登録した人に渡されるオレンジの輪

きれいな街で快適に過ごせるように

事業名〇ポイ捨て防止ときれいなまちづくり

区担当課〇環境清掃部 ごみ減量リサイクル課
TEL 03(5273)4267



上) 平成28年5月30日の「ごみゼロデー」の様子
下) 繁華街の路上も清掃の対象です

気持ちよく風を切って新宿を歩く。でも、足元にはごみが捨てられ、紫煙が漂って？ 捨てられたごみは美観を損ねるだけでなく、ときに子どもや高齢者、障害者を持った方々の安全を脅かします。歩きタバコはタバコの火によるやけどなどの被害を他者にもたらし、さらにそのタバコがポイ捨てされる恐れも。そこで新宿区は、地域住民や事業者と協力して、きれいなまちづくりの意識を広めていきます。新宿区では条例により空き缶や紙くずなどのポイ捨てや、路上喫煙を区内全域で禁止。高田馬場駅周辺、新宿駅西口周辺、新宿駅東口周辺の3か所を美化推進重点地区として、清掃活動や、路上喫煙禁止の啓蒙活動を推進しています。毎年行われている「ごみゼロデー」には、多くの団体や学校、商店街などが参加。(平成28年度は141団体4290人)。新宿をきれいで快適な街にするため、汗を流しています。

「すべての人」が等しく図書館を利用できるように

事業名〇障害者への図書館サービス

区担当課〇中央図書館
TEL 03(3364)1421



録音図書にはカセットテープとDAISY(デージー)があります
上) DAISY録音図書を製作中の様子
下) CDの形をしたDAISY録音図書。再生には、専用の機器(貸出あり)や、専用ソフトウェアをインストールしたパソコンが必要です

新宿区立図書館は、個人及び団体ボランティアと協働して、障害者向けサービスを提供しています。区内に在住・在勤・在学中、活字を読むことが困難な人のためには、対面朗読や、録音図書の製作・貸出を行っています。「新宿区声の図書館研究会」の音訳ボランティアや図書館サポーターが、戸山図書館他を拠点に活動しています。障害者手帳を所持してなくても、読書に不自由を感じている人なら利用登録ができます。問い合わせ及び申し込み先は戸山図書館です。

問い合わせ・申し込み	
中央図書館	03-3364-1421
戸山図書館	03-3207-1191

新宿区ウェブサイト	
活字を読むことが困難な方へ	http://www.city.shinjuku.lg.jp/library/index11.html
図書館に来ることが困難な方へ	http://www.city.shinjuku.lg.jp/library/index12.html

また、区内に在住で、図書館への来館が困難な人のためには、家庭配本サービスを行っています。職員もしくはボランティアが希望の資料を自宅へ届け、受け取りに来てくれます。申込先は各図書館です。いずれのサービスも利用は無料です。

よくわかる! 『協働事業提案制度』とは?

→ 協働事業提案制度ってなあに?

地域が抱えるさまざまな課題で、かつ、行政だけでは解決が困難な課題について、NPO等と行政の知恵と力で解決するためのしくみです。

→ 具体的には……

- 新宿区で活動を行うNPO等の団体が、**事業の提案**をします。
(区からあらかじめ設定されたテーマに対する提案、自由提案のいずれでも可)
- 学識経験者や区民らによって構成される**審査会が審査**します。
- 採択された**団体は、区と協働**し、該当事業を運営します。
- 事業の経費のうち概ね100万円から330万円までを**新宿区が負担**します。

→ 目的は?

- 地域が抱えるさまざまな問題を発見し、解決**します。
- 行政への**区民参加**を促します。
- 地域の活性化**を促します。
- 団体の提供するサービスを利用することで**区民の生活が豊か**になります。

→ 提案事業の条件は?

- 社会貢献的的事业で**地域や社会的課題の解決**に役立つ事業
- 区民の満足度が高まり、**具体的な効果・成果が期待できる**事業
- 多くの区民やNPO等への**波及効果が期待でき、継続や拡大が見込まれる**事業
- 事業を通じて区民の地域活動への**参加意欲の掘り起こし**ができる事業
- NPO等と区が協働することによって**相乗効果が生じる**事業
- 明確かつ妥当な**協働の役割分担**で実施できる事業
- 協働事業を提案するNPO等が実施することが可能である事業
- 予算の見積もり等が適正である事業

[注]・特定の個人や団体のみが利益を受ける事業、学術的な研究、住民の交流行事等の親睦会的なイベント等は対象外となります。
・上記の内容は平成28年4月1日現在のものです。

事業採択後の流れ

Plan(計画)

団体と区担当課は、事業の目的や目指す成果、役割分担等を協議し、事業内容を確定させます。



Do(実行)

地域課題の解決のため、団体と区担当課が協働で事業に取り組みます。



Check(評価)

団体と区担当課は自己点検と相互点検を行い、事業の振り返りを行います。また、協働事業評価会による第三者評価も実施されます。



Action(改善)

第三者評価の結果等を踏まえ、団体と区担当課は事業実施の課題や問題点を整理し、改善内容を事業に反映させます。

編集後記

●多岐にわたる協働事業は生活や仕事に役に立つと思います。気軽に区に問い合わせ有効活用を。
(武藤美子)

●編集会議では、話し合いも白熱しすぎ形が見えなくなることも。できあがってみるとちゃんと雑誌らしく仕上がって嬉しくなりました。
(青山留佳)

●誰でも、何にでも、その内側に物語がある。丁寧にそこを感じて、語る。そんな文章、書きたいな。
(R)

●今回の取材内容は、災害現場の経験を活かした防災を、楽しんで学ぶ協働事業でした。産みの喜びを教えてくださいました。(松浦はるの)

●作成に協力できて嬉しかったです。個々の作業が一つの冊子の形にまとまるのはすごい。
(けいこ)

「Let's, 新宿 協働」は、新宿区が行っている「協働事業提案制度」について広く知っていただくために、新宿区民からなる協働事業紹介冊子編集講座の受講生が、区民目線で、読みやすくわかりやすい読み物を目指して制作しました。

新宿区協働事業提案制度による平成28年度実施事業のご紹介「Let's 新宿 協働」平成29年2月発行

編集・発行/新宿区地域振興部地域コミュニティ課 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

TEL: 03-5273-3872 E-mail: chiikicomunity@city.shinjuku.lg.jp URL: http://www.city.shinjuku.lg.jp/

印刷・製本/あかつき印刷株式会社 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 TEL: 03-3497-0531

編集/石井栄子(いしづる) デザイン・DTP/大野佳恵 表紙イラスト/川越純香

印刷制作番号 2016-14-2601

この印刷物は業務委託により3,000部印刷製本しています。その経費として、一部あたり66.66円(税別)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。